

# なごみ

二〇一七年八月 題字 周防 和衛

## 祭 ■納涼祭開催致しました

二〇一七年七月三十日に第十回宝塚ちどり納涼祭を開催致しました。

前日が雨天で、午前中も厚い雲が空を覆う時間もあった為、天気が持つ心配していましたが、午後からは暑いくらいに晴れわたり、例年にも増して大盛況となりました。事前の準備から、当日、後片付けまで、ご家族、ボランティア、地域の皆様等多くの方にご理解・ご協力頂き、無事納涼祭を終えることができました。ありがとうございます。

今年度の納涼祭では新しい試みとして、EPA介護福祉士・候補生によるインドネシア舞踊を披露して頂きました。いつも働いている姿とは違う彼女達を見て、新しい一面を発見できたのではないかと感じ

ています。彼女達からコメントを頂いていますので、この



後のコーナーでご紹介いたします。

夏祭りといえば盆踊り。御所の前自治会婦人部、福井・亀井自治会婦人部と職員がやぐら（こちらも毎年、福井・亀井自治会からお借りしています）を囲んで

大きな輪となり行われました。

今年も事前の練習に職員が参加させて頂き、当日にはしっかりと踊ることができました。



### 納涼祭は当施設

の毎年恒例の夏の一大行事となっています。今年度も多くの地域の方々、ご家族にご参加頂きました。夏の思い出のひとつとして頂けたら幸いです。

今年度の納涼祭でも多々至らない点もあったかと思えますが、ボラン

ティア・地域の方々のご協力のもと、無事に終了する事が出来ました。この場をお借りしてお礼申し上げます。今年度の反省を生かして、来年度も盛大な納涼祭が開催出来ればと考えております。（越知・安藤）

### ◆今年の屋台は一味違う？

昨年好評だった、ボラボラの会様の手打ちうどんをはじめ、定番の焼きそばや、アイスクリームの店舗を出させて頂きました。ご利用者もご家族も盆踊りを見ながら、楽しそうに召し上がっていらっしやいました。焼きそばを召し上がっていたご利用者からは、「おいしいよ、あんたも食べや〜」と声を掛けて頂き、アイスクリームを召し上がっていたご利用者は「暑いから冷たくておいしい。ちょっと甘すぎるけどね」と嬉しそうに話されていました。特に焼きそ





も大変人気で、たくさんのご参加をいただきました。施設

**◇ゲームに夢中!!**  
 ゲームコーナーでは「スーパーボールすくい」「千本つり」「輪投げ」の、三種類のゲームを開催致しました。今回の景品は、ふわふわのタオルや子ども達に人気の光る剣など、いつもにも増して豪華な景品となりました。車椅子に座ったままで楽しめる千本つりや輪投げはご利用者に

ばは、例年以上の売り上げのスピードで、早くも売り切れになっていました。  
 また、今年はナゲットやワッフル、かき氷などを新たに追加しました。どれも好評で、子ども達に大人気だったかき氷には長い列が!! 慣れないかき氷機に苦戦しながらも氷を削り、子ども達やご家族に喜んで頂きました。



(長田)

内ではゲームで獲得した景品を嬉しそうに持って帰って来られるご利用者を多く見かけました。また、輪投げやスーパーボールすくいはやはり大人よりも子ども達の方が得意のようです。次々と成功していく様子を見ながらご利用者だけでなく、職員や地域の皆様と大変盛り上がり、楽しい時間となりました。

(濱野)

**◇スタッフ一丸で踊りました!**

宝塚ちどりでは

平成二十年度から始まったEPA

(二国間経済連携

協定)に基づく外国人介護士候補生の受け入れや技能実習制度、留学ビザによる外国人の受け入れに取り組み、現在ではインドネシアやフィリピンの介護職員が働いています。今年の納涼祭ではインドネシア人介護職員の協力を得て、インドネシア舞踊を披露する事が出



来ました。ご利用者からは「お仕事大変な中ありがとうございます」「衣装が綺麗でした」「これでインドネシアまで踊りを見に行かなくてもいい」など、嬉しい言葉がたくさん聞きました。お客様に楽しんでもらえた事を、踊ったメンバーに伝えると「ドキドキしたけど楽しかった」「来年も踊りたい」と、とても喜んでいました。また機会があればぜひ見にいらしてください。

(中島)

**◇インドネシア語◇**

日本に旅行に来られた外国の方が、日本語でお礼を言ってくれ、うれしく感じたり、海外を旅行した際に、現地の言葉を話したくなる時はありませんか?

ちよこつとですが、インドネシア語をご紹介します。インドネシア語で「ありがとう」は、「トウリマカシ」と言います。ぜひとも、バリに旅行に行った際やインドネシアのスタッフに話しかけてみてください。きっと、「サマサマ(どういたしまして)」と返事して下さいます。





◇小さな男の子も頑張ってくれました!!

今年のメインイベントは、ご利用者のご家族の協力を得て、沖縄の伝統芸能の「琉球舞踊」「エイサー」を披露して頂きました。

た。色鮮やかな衣装に花笠をかぶり優雅に舞う古典舞踊から、太鼓や指笛に合わせてアツプテンポで暑さを吹き飛ばすような迫力のある踊りなど、会場全体が大変盛り上がりしました。中には幼い踊り手さんが体の半分くらいある太鼓



を操り、大人顔負けで踊る姿に、観客みんなが夢中になり応援していました。踊りを披露して頂いた流鼓会様の方から「多くの人に



てもらえたこと、また利用者さんと近くで触れ合えたことが、良い思い出になりました。機会があればまた参加したい」と仰って頂きました。暑い中本当に有難うございました。

(中島)

◇エイサーとは・・・◇

青年が村々の繁栄を願う踊りだそうです。当日は、「今日でいえば、おじいさんとおばあさんの健康とご長寿、ご多幸を祈って・・・」と踊って下さりました。手を取り合って踊って下さり、みんな自然と手が動き笑顔になり、楽しいひと時を過ごすことができました。

■バザー商品のご協力ありがとうございました

たくさん品物が集まりみなさんのご協力に感謝申し上げます。売り上げにつきましては、納涼祭の運営費の一部とさせて頂きました。(加茂)

■委員会報告

◇地域交流委員会

今月の委員会では、九月に開催予定の介護技術講習会について話し合いを行いました。今回の介護技術講

習会では、『更衣介助と排泄介助について』をテーマにしました。排泄介助、更衣介助共に実演を交えながら、介護用品なども実際に見て頂き、説明や解説を行う予定にしています。参加して頂いた方々に短い時間ではありますが、わかりやすく、実りある楽しい介護技術講習会となるよう、委員全員で今後も検討していきたいと思っております。

(西野)

◇研修委員会

八月に実施予定としている、株式会社クリニコから講師をお招きしての食事介助研修に関する準備と、どのような研修内容を希望するかといった点について、重点的に話し合いを行いました。ご利用者に安心して食事をして頂ける様に、食事介助の方法を再確認するとともに、講義と併せて体験型として、実際に受講者同士で介助を行う内容も予定しております。介助を受ける側の感覚を感じ、実際に介助する時に注意すべき点を肌で感じてもらう機会も予定しています。より一層のスキルアップ

を目指し、研修を実施致します。(池下)

### ◆給食委員会

給食委員会では、六月号で記載させて頂いたいただいた再チャレンジメニューという取り組み



が始まりました。第一弾は「炊き込みご飯」。五月に炊き込みご飯を提供した際には「美味しい!」「味付けが良い」「見た目が綺麗」という意見が聞かれた反面、「具の工

ビが固く、口の中に残る」という意見もみられたメニューでした。給食委員会では、この意見をもとに「より美味しく、食べやすく提供できないか」と考え、具材の工夫を行い、七月に再チャレンジメニューとして再度提供させて頂きました。提供日当日には、給食委員会が各ユニットを周り、工夫した点を皆様にお伝えしながら、お食事の感想をご利用者の皆様に伺いました。今回の感想

では「ほんのりエビの味がする」「エビが口に残らず、食べやすい」「美味しい」という意見がみられました。しかし「エビを小さくしたら、エビが入っているのかわからなかった」という意見も聞かれました。今回の取り組みを通して、同じ料理でも改善や工夫を行うことで、ご利用者の皆様の反応も大きく違ってくることが改めて感じることが出来ました。今後も皆様からのご意見を参考に、工夫と改善を行いながら、よりお食事の時間が楽しみになるような取り組みを続けて行けたらと思っております。(目加田)

### ◆うちわ作り

八月二日、十四時から、ベルコさん主催(社会貢献)のうちわ作りを行いました。



うちわ作りは白紙のうちわに色紙やのりを使ってペタペタ貼って行く簡単な作業です。当日は十六名のご利用者にご参加い

ただき、それぞれ思い思いに「どんな柄にしようか」「何色がいいかな」と熟考しうちわを作っておられ、大盛況のうちに会を終えることが出来ました。参加された方々からは、「自分で作ったうちわを貰えるなんてラッキーです」「暑いから夏らしい模様にしてみた」「次も楽しみ」と笑顔が絶えない会となりました。



今後もご利用者が参加してみたいと思っ頂ける様な取り組み、企画を考えて参ります。(米澤)

### ◆編集後記

今月号は、納涼祭の話題をメインとさせて頂きました。楽しんでいただけましたでしょうか。まだまだ、暑い日が続きますが、高校球児の頑張りに負けぬよう、この暑さを頑張っ乗り越えましょう!(加茂)

